

受講者募集要項のご紹介

出願期間

2026年4月入学 > 2026年2月8日～2月15日(土日祝日の場合は、翌事業日とする。)17時必着

募集人員

2026年4月入学 > 20名程度

出願資格

次の(1)かつ(2)～(11)のいずれかに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- (1) 建設の職業の経験を有する者、これに携わる者、あるいはこれを目指す者
- (2) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または2026年3月31日までに学士の学位を取得見込みの者
- (4) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するもの当該課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (9) 文部科学大臣の指定した者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) その他本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

障害等がある場合の事前相談

障害等があり、入学後の学修に際して特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち、九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府・教育学部担当)に相談すること。

入学金および受講料

- (1) 入学金 28,200円
- (2) 受講料 177,600円

(※12単位を超える科目を受講する場合、受講する単位数に応じて1単位につき14,800円を追加納付する。)

出願手続

履修希望者は、下記の提出書類を九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府・教育学部担当)に郵送すること。

提出書類

- (1) 科目等履修生入学願書(履歴書を含む:所定の用紙)
- (2) 科目等履修生履修科目申請票(所定の用紙)
- (3) 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書
- (4) 最終学校の成績証明書
- (5) 所属長の承諾書(在職中の者)
- (6) 検定料(9,800円)(科目等履修生として新規に願い出る者のみ)

※納入方法については下記QRコードからご参照ください。

出願書類の郵送先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744(イースト1号館E-C-108)
九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府・教育学部担当)
電話:092-802-6362 E-mail:jbkkyomu1ed@jimu.kyushu-u.ac.jp

WEBサイト
(募集要項含む)



※講座内容により即した表現とするため、昨年度まで使用していた「リカレント」の文言を「リスキリング」に変更しています。

D-Be DIGITAL BUILT ENVIRONMENT



KYUSHU UNIVERSITY



OIP

暫定版

DIGITAL BUILT ENVIRONMENT

最先端の技術を
社会に実装する

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定プログラム

【九州大学 大学院 人間環境学研究院】

社会人向けリスキリング教育プログラム

D-Be 部門 | 受講者募集

(デジタルビルト・エンバイロメント)

2026年
4月入学

出願期間

2026年2月8日～2月15日 17時必着

※土日祝日の場合は、翌事業日とする。

最先端の技術を社会に実装する

3Dモデリング、VR、AIなどのデジタル技術を
共通基盤として研究・教育を進めます。

- 九州大学が有する世界最先端技術の普及によるウェルビーイングの実現
- 3Dモデリング、AI、3Dプリンタ、ロボティクスによる設計プロセスのデジタル化を通じた新たな人材の育成
- VR・デジタルツインを活かした教育機関との協働によるインクルーシブな社会の実現

Course Format
受講形式

対面、オンライン併用

※オンデマンド含む。講義内容により異なります。

Recruitment
募集人数

20名程度

Course Fee
受講料

177,600円

※入学金28,200円 別途

最先端の建築 DX を学ぶ

九州大学における大学院レベルの知見にもとづき、ものづくりの DX を通じた即戦力デジタル人材の育成を目的としたリスキリング事業です。

交通利便性の高いエリアでの対面形式、オンライン、オンデマンド配信などの方法で開講します。

本プログラムは建築分野におけるデジタル化されたものづくりにおいて、建設 ICT の基盤となるデジタル技術の習得を通じて、業界とくに中小企業における人材の技術力の強化を図っていきます。建築設計プロセスのデジタル化に係る十分かつ最新の設備（高性能 GPU 搭載モバイルワークステーション、建築環境エネルギーシミュレーションソフト、3D モデリング、

レーザースキャナー、3D プリンター、ロボットアームなど）を整備した上で、大学の研究力と企業の実践力を掛け合わせた環境下でリスキリング教育を行い、建設業界における DX 推進が期待される、デジタルが可能にするヴァーチャル(仮想)、シミュレーションを含む)とリアル(現実)の間を自由に往来できるスキルと実践力をもつ建築デジタル人材の育成を目指します。

開講形式

対面、オンライン、オンデマンド併用
※講義により異なるため、詳細は募集要項やシラバスをご参照ください。

開講時間

平日夜間、土日など

開講場所

博多駅ビル内会議室、九州大学西新プラザ、九州大学伊都キャンパス、オンラインなど

修了要件

選択必修科目のうち計12単位以上

教育方式

履修証明プログラム

期間

1年間(4月開講)

受講期間 **1年**
(4月開講)

前期科目

後期科目

自由研究

履修証明書を
交付

合計 **12** 単位以上
取得

建築デジタル人材の育成 (デジタルを駆使した、最小単位4名での高度な設計・ものづくり)

8単位

建築環境エネルギー系

- 実践 | 建築環境エネルギーシミュレーション特論(前期科目・2単位)
- 実践 | 建築環境エネルギーシミュレーション演習(後期科目・2単位)
- 理論 | 建築環境学特論 I(前期科目・2単位)
- 理論 | 建築環境学特論 II(後期科目・2単位)

4単位

AI・ロボティクス系

- 演習 | Digital Fabrication Studio A(前期科目・2単位)
- 演習 | Digital Fabrication Studio B(後期科目・2単位)

4単位

デジタル測量系

- 理論・実践 | デジタル測量学特論(前期科目・2単位)
- 実習 | デジタル測量実習(後期科目・2単位)

8単位

3Dモデリング系

- 実践 | 3Dモデリング演習1(前期科目・4単位)
- 実践 | 3Dモデリング演習2(後期科目・2単位)
- 実践 | フォトグラメトリ建築計測・造形実習(前期科目・2単位)

4単位

研究系

〈建築デジタル人材による生涯学習の基盤構築のサポート〉

追加選択可能

アントレプレナーシップ系

〈新たな市場開拓・社会実践のサポート〉

4つの専門系と研究から

自由に選んで学べる

2025年度 受講生の声

Q. 受講のきっかけは？



設計事務所勤務 / 30代

日々の設計業務で生まれる疑問を解消し、より深い検討ができる力を身に付けたいと思っていたことがきっかけです。



設計事務所勤務 / 20代

これまで学ぶ機会がなかった環境シミュレーションや3次元測量に、本プログラムでぜひ取り組みたいと感じました。

Q. 受講する上で良かった点は？



設計事務所勤務 / 30代

業務の都合でどうしても授業に参加できない時は柔軟にオンライン形式や録画の提供に切り替えていただけました。



設計事務所勤務 / 40代

持ち帰り課題がなく、基本的に授業内で完結できる構成になっていた点はとても良かったと思います。

Q. 印象に残った講義は？

大学の環境実験棟等を用いた実験とシミュレーションを併用した回は印象的で、体感的に建築環境を理解することができました。

自作した3Dモデリングデータが、3Dプリンターなどによって実際に造形物として出力されると感動しました。

講義全体を通じて、理論から機器の特徴まで体系的な説明があり、さらに演習を通して実践できたことで、理解が大きく深まりました。

学習環境

- 高性能 PC 貸与 (GPU8GB 程度・RAM64GB 程度)
- 3Dモデリングソフト貸与
- 建築環境エネルギーシミュレーションソフト貸与
- 工房使用可能
- VR 機器など使用可能



最先端の
学習環境